

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】 事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください。

A事業①、② 『ASEAN等海外市場開拓事業』

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

富山県及び当機構では、日本列島の日本海側の中心に位置する富山県の地理的優位性を生かし、環日本海諸国、とりわけ膨大な人口を抱え今後の大きな経済成長が見込まれる中国への海外展開支援に力を入れてきた。

今後は、環日本海諸国に加え、成長著しいASEAN諸国をはじめとするアジア地域との一層の連携が重要であるが、資金面や情報収集、人材確保などがネックとなっている。

昨年からのコロナ禍において、海外ビジネスの一部ではデジタル技術を活用した海外と日本のボーダレス化が進んでおり、海外ビジネス展開への新たなチャンスが開かれた状況であるが、デジタル活用が進んでいない企業ではその波に乗り切れず、海外展開への活路が見出すことができないことが喫緊の課題となっている。

そのため、本事業では、中国をはじめASEAN諸国において、ウィズコロナ、アフターコロナ時代を見据えつつ、海外展開支援を実施するものである。

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉、評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

新型コロナウイルス感染症の影響により、中国・大連市で開催予定であった「中日（大連）博覧会」が急遽中止、県主催のベトナム経済訪問団派遣も中止となった。また、海外への渡航が困難であるため当機構で計画していた中国広東省への海外経済ミッションを中止したことから、（１）（２）①中国（大連）の見本市への出展支援と出展助成、（３）①ベトナム及び②中国（広東省）への海外経済ミッションの参加、企画・開催を中止（不催行と）し、事業を縮小することとした。

しかしながら、県内企業の海外展開や販路開拓への継続的な支援を図るため、実現可能な事業に対し、手法をオンライン形式に変更し（２）②中国バイヤーとのオンライン商談会、および（３）③中国ビジネスセミナーの実施に事業計画を変更し実施した。（不催行事業は、以下に取り消し線・斜線で表示した。）

なお、各実施事業と助成対象事業の区分は以下のとおり。

- | | |
|--------------------|--|
| A事業① 新事業展開等助成金交付事業 | (1) 見本市出展助成 |
| A事業② 新事業展開等促進事業 | (2) 見本市出展支援
(3) 海外経済ミッション派遣
(4) 海外ビジネス人材育成
(5) 支援体制強化 |

実施事業	助成対象事業	事業概要
A事業① 新事業展開等助成金交付事業	(1) 見本市出展助成	① 中国（大連） 「中日(大連)博覧会」への出展助成
		② 東アジア・ASEAN 諸国 見本市・商談会への出展助成
A事業② 新事業展開等促進事業	(2) 見本市出展支援	① 中国（大連） 「中日(大連)博覧会」への出展支援
		② 中国 「中国オンライン商談会」の実施

	(3) 海外経済ミッション派遣	① ベトナム 経済訪問団への派遣同行
		② 中国（広東省） 海外経済ミッションの実施
		③ 中国 中国ビジネスセミナーの実施
	(4) 海外ビジネス人材育成	海外取引ビジネス英語（交渉・プレゼン）研修会（社内人材育成の強化）
	(5) 支援体制強化	海外市場開拓の支援体制整備 ① 海外販路開拓マネージャーの設置（窓口相談機能・海外出展サポートの強化） ② 海外販路開拓支援室の設備拡充（デジタルインフラの整備）

(1) 見本市出展助成 …A事業①

<事業内容>

コロナ禍による県内企業の経営への影響は極めて大きい。特に海外ビジネス展開には事業資金の調達が大きな障害となっており、補助制度の拡充の声は強い。

このことから、本年度は、中日（大連）博覧会及び東アジア・ASEAN 諸国での見本市等への出展助成を実施し、従来のオフライン型の出展に加えて、昨今急増しているオンラインの展覧会や商談会にも活用の幅を広げ、県内企業が多様化する海外ビジネスチャンスに挑戦する機会の創出を促進するとともに、グローバルなビジネス展開を総合的にサポートする。

① 中国（大連）「中日（大連）博覧会」への出展助成

<実績・評価等>

下記（2）①のとおり、博覧会自体が中止となったため出展助成は不執行となった。

<課題等>

令和4年度は現地へ渡航しての出展を予定しているが、コロナ禍の状況によっては出展方法を変更することも視野に入れ、柔軟に対応する必要がある。

② 東アジア・ASEAN諸国 見本市・商談会への出展助成

<実績・評価等>

補助金の対象地域である ASEAN 諸国において、新型コロナウイルスの影響により商談会の延期や中止が相次いだ。そのため、ジェトロ富山や県内金融機関海外事業所の意見を踏まえ、対象地域に比較的新型型コロナウイルスによる経済的ダメージの少ない中国、香港を含む東アジアを加えると共に、オンラインプラットフォームへの登録に係る外注費用や広告掲載料を支援対象経費に追加し、出展助成の支援内容の拡充を行った。

県内企業1社から申請があり、選定委員による書類審議の結果、交付決定を行い、出展助成を執行した。

採択：1社（交付確定額：27,500円）

<課題等>

出展助成として、東アジア・ASEAN諸国へのオフライン、オンライン型の見本市や商談会の出展及び参加助成に加えて、デジタル環境の普及で急速に拡大しつつある越境ECへの参入についても幅広く活用できるよう補助制度の拡充の声は強い。

(2) 見本市出展支援 …A事業②

- ① 中国「中日（大連）博覧会」
中止により②へ事業計画を変更

- ② 中国「中国オンライン商談会」

<事業内容>

中日（大連）博覧会が新型コロナウイルス感染症の拡大の為、中止となったことを受け、県内企業の商談機会の確保を図るために、中国在住のバイヤーとのオンライン商談会を開催した。また、事前に参加希望企業と連絡・調整を行い、中国向けの商品選定や商談方法を指導することで商談成約率の向上を目指した。

<実績・評価等>

商談会は、ビデオ会議システムを用いてオンライン形式で実施した。送付可能なものについては中国現地に事前にサンプル等を送付し、バイヤーはサンプル等を手に取りながら県内事業者と商談できるようにすることで、展示会会場での商談している状況に近づけた。また、成約率の向上を図るため、言語サポートとして商談時に通訳を配置した他、事前に県内参加企業に対し、商談の進め方や不足する情報の確認等の商談サポートやサンプルの輸送に係るサポートを実施した。

開催日は、中国現地の春節による休暇期間（1月31日～2月6日）及び物流の混乱が見込まれる北京冬季オリ・パラリンピック期間（2月4日～3月13日）を避けた令和4年1月中旬とした。

参加県内事業者は、当初中日（大連）博覧会に参加を予定していた企業を中心に募集し、計8社が参加した。バイヤーは、本県の空港と直行便が就航しており、県産品を取り扱う県内事業者が拠点や店舗を構える等、本県と経済的な結びつきが強く、また経済規模が大きいため、中国国内各地に販路を持つバイヤーが多いと見込まれていた上海地域を中心に募集し、計6社のバイヤーが参加した。

一方、当初出展予定の博覧会開催都市（大連市）とバイヤー在住地域が異なることになるが、出展予定だった中日（大連）博覧会は、日本商品に特化した博覧会として、2020年においては、主催者発表によると中国国内の23省・市からバイヤーが訪れる等、幅広い地域との商談・交流を目的とした博覧会であることから、バイヤーの在住地域が異なることに関して、当初の出展支援の目的に与える影響は小さいと考えられる。

《商談会概要》

開催日時：1月13日（木）、14日（金）

受託業者：㈱ジェック経営コンサルタント（富山県富山市）

開催場所：オンライン

（バイヤー側会場：本事業受託事業者の上海事務所及び蘇州事務所）

参加事業者数：8社

バイヤー数：6社

商談数：19件

成約見込み：1件

満足度調査：75%（満足度5段階評価のうち「大変満足」「やや満足」の割合）

<課題等>

商談では、バイヤーは概ね参加県内事業者の商品に興味を示したが、数量や価格、販売方法といった面で折り合わない場面が目立ったことから、マッチングの段階で商品だけでなく取引条件等についても、詳細な情報の提供を行う等の取り組みが必要である。

また、春節前の実施という事であり、春節期間の休暇中にバイヤー側との連絡が取りづらくなった点や、小売業のバイヤーが多く参加しており、中国国内でのコロナ禍による景気の冷え込みの影響を受けていたことも成約件数の減少につながった可能性がある。

一方、県内事業者のアンケート結果では満足度は高く、コロナ禍での商談機会の創出

を当機構に期待する声も寄せられており、引き続き海外現地のバイヤーとの商談機会の確保を図る必要がある。

(3) 海外経済ミッション派遣 …A事業②

① ベトナム経済訪問団への参加

<事業内容>

ベトナムでは、2019年度にB事業を活用し現地の経済状況やインフラ・投資環境などの現地情報を入手し新たなネットワーク構築を図った。

本年度は、富山県が予定している知事を団長としたベトナム経済訪問団の派遣への同行し、現地の投資環境・現地進出企業の動向・人材事情の情報を入手し、県内企業の海外展開の促進を図るとともに、経済発展に伴い急成長するベトナムの約1億人の巨大消費市場への進出を見据え現地調査を行うこととする。

<実績・評価等>

新型コロナウイルス感染症の拡大のため渡航が困難となり、訪問団の派遣が見送られたため不催行となった。

<課題等>

ベトナムは、県内企業の今後の事業展開における有望国であり、さらには、高・中間所得層の拡大を見据え、消費市場としての新たな進出先としても期待が高い。コロナ禍でもプラス成長を維持する同国で、県内企業の本格的なベトナム進出に向けたデータ基盤の構築を行うため、さらなる情報収集を行うとともに、継続的な現地調査を検討していく必要がある。

② 中国（広東省）海外経済ミッションの実施

中止により③へ事業計画を変更

③ 中国 中国ビジネスセミナーの実施

<事業内容>

長引く新型コロナウイルスの影響により、当財団で計画していた中国（広東省）経済ミッションが不催行となる等、現地最新情報の入手が困難となっていることから、オンラインを活用した中国ビジネスセミナーを実施し、県内企業の海外展開や販路開拓への継続的な支援及び情報提供を図った。

<実績・評価等>

令和4年3月25日（金）に「中国ビジネスセミナー～巨大な隣国の今を知り、ビジネスチャンスを探る～」をオンラインにて開催した。本セミナーでは、様々な視点から多角的に最新の現地情報を提供することができるよう、異なる分野の専門知識を持った3名の講師による3部形式でセミナーを開催した。

《セミナー概要》

開催日時：令和4年3月25日（金） 13：30～16：35

内 容：第Ⅰ部 「《基調講演》日中国交正常化50周年を迎えて」

講師：アジア経済交流センター 藤野顧問

第Ⅱ部 「中国製造業の現状と今後の注目産業

～富山県企業様の中国展開に向けて～」

講師：ファクトリーネットワークチャイナ 富岡副総経理

第Ⅲ部 「中国でのソーシャルコマース／ライブコマース最前線」

講師：富山県生活環境文化部国際課 孫経済・貿易連絡員

視聴者数：83名

アンケートで参考になったと答えた方の割合※：第Ⅰ部 95%

第Ⅱ部 100%

第Ⅲ部 100%

※アンケートの感想で、5段階評価のうち「大変参考になった」「まあまあ参考になった」の割合・視聴していないを選択したものを除く)

<課題等>

本セミナーのアンケート結果から、各講演に対する評価（「参考になった」、「やや参考になった」と回答した参加者の割合）は高く、特に現地の最新情報や多角的な見解について参考になったとする声が寄せられた。このことから、現地へのミッション団の派遣を含め引き続き、現地の生の情報を県内企業に届ける取り組みを続けていく必要がある。

（４）海外ビジネス人材育成 …A事業②

<事業内容>

県内企業の海外展開の問題点として、海外ビジネスに対応できる人材の確保が大きな障害となっている。原因として、個々の事業では、人材指導・育成のノウハウが乏しい、時間的・体制的な余裕がないなどの理由で、現状、人材育成の取り組みを十分に行えない点が挙げられる。

昨今のコロナ禍で商談手段のオンライン化が進むなか、今年度は、主に英語を活用した海外企業との商談を見据えたプレゼンおよび交渉術に的を絞り、ビジネスの場で即役立つ交渉英会話の習得を目標に外部講師による研修会を実施する。

<実績・評価等>

オンラインを含めた海外での展示会、海外との商談会において、基礎的な英語による商談でのアプローチの習得を目的とし、海外でのビジネス経験豊富なネイティブ講師による研修会を実施した。

当初9名の申込があったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、参集形式からオンラインでの開催に変更したことにより、2名がキャンセルとなった。

オンラインでの開催となったが、業界を超え、相互に情報やノウハウをやり取りする場面も見られ、また、参加者へのアンケート調査でも満足度86%と好評であり、継続的な研修の実施を期待する声も聞かれた。

《研修会概要》

研修会名：海外商談会や展示会で使える英会話研修会

～自社及び製品・サービスを英語でプレゼンしよう～

開催日時：第1回 令和4年2月14日（月）13：30～15：30

第2回 令和4年2月28日（月）13：30～15：30

開催場所：オンライン形式

講師：株式会社 GRACE アカデミー外語学院 Brian Spratt 氏 馬洗 博子 氏

参加者：第1回7名、第2回6名（1名欠席）

内容：アクティブリスニング、自社及び製品紹介のノウハウ、効果的なプレゼン、商談会等で役立つフレーズ、取引条件を説明する英語表現、実践演習

満足度調査：86%（満足度5段階評価のうち「大変満足」「やや満足」の割合）

<課題等>

先述のとおり、海外ビジネスに取り組むまたは検討する中小企業にとっては、担い手となる人材の確保が大きな課題として挙げられる。本年度、本県が実施した調査でも、社内のグローバル人材の不足について課題を持つ企業が多く、将来的な後継者育成を含め、公的機関に支援を期待する声が寄せられている。

将来的には、個々の企業で中核的に担当できる人材が育つことで、会社全体の経営方針、経営計画との関りも踏まえながら中長期的に腰を据えて海外ビジネスを進められるよう社内体制整備への取り組みを支援する必要がある。

(5) 支援体制強化 …A事業②

① 海外販路開拓マネージャーの設置（窓口相談機能・海外出展サポートの強化）

<事業内容>

富山県内企業の海外展開支援事業を円滑に行うため、昨年に続き海外販路開拓マネージャーを設置し、変わりゆく海外ビジネスに臨機応変に対応し、県内ニーズに対応したより細やかな支援を実施する。

海外展開に関する情報不足や海外ビジネス機会の少ない県内企業の掘り起こしを行い、海外展開へのすそ野を広げるなど本県ものづくり産業のグローバル展開への推進を目指す。

<実績・評価等>

今年度は、ジェトロや当機構で勤務経験があり、県内企業の実情に精通し幅広い人脈を持つ海外販路開拓マネージャーが県内企業を訪問し、当機構の実施している各種支援策について案内するなど、各企業の実情に応じたきめ細やかな支援を行った。また、成長著しい越境EC市場に向けた県産品の海外展開に取り組むなど、変動する海外展開を取り巻く環境に即した新しいビジネスチャンスの創出にも力を入れている。

<課題等>

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、デジタル技術を活用した海外ビジネスへの移行が進む中、今まで以上に個別企業への伴走型の支援が必要になっている。今後も、海外販路開拓マネージャーのネットワークを活かし、ジェトロや海外サポートデスクなどの海外拠点、県内金融機関や海外政府機関と連携し、県内企業のニーズに沿った有用な情報のフィードバックを行い、ポストコロナを見据え戦略的に海外展開に取り組むために必要な情報を提供することが求められている。

② 海外販路開拓支援室の設備拡充（デジタルインフラの整備）

<事業内容>

海外販路開拓支援室の設備を拡充し、昨今増加しているオンラインを活用した海外関係機関とのミーティングや現地情報収集のため、モニターを増設して意思疎通を図りながら円滑に業務を遂行できる環境を整える。また、オンライン商談のための機材が備わっていない企業にも海外販路開拓の機会を提供し、急速に変化する海外動向にリアルタイムに的確な対応を行い、多様化する県内中小企業のニーズに沿った支援を行う。

なお当機構内では、海外のみならず国内においてもオンラインでの商談や打合せが増えており、国内・海外問わず設備を活用することによって、県内企業のデジタル化を促すとともに、国内外に向けたビジネス展開の促進、販路拡大や輸出促進を図る。

<実績・評価等>

海外販路開拓マネージャーの業務用パソコンの老朽化に伴い、レンタルパソコン1台を設置した。テレビ会議用に、モニター1台・レンタルパソコン1台を配備し、他センターとも設備を共用し、国内外の関係機関等との打ち合わせやセミナーの実施など有効に活用した。また、レンタルパソコン2台を準備し、国内外を繋いだオンライン商談や打合せ、研修会を実施した他、Web環境が未整備の事業者へ当機構へ来訪いただければ参加できるよう声掛けを行うなど、新たなビジネスチャンスへの取り組みの支援を行った。

<課題等>

コロナ禍の中、テレワークやコミュニケーションのリモート化に加え、バーチャル展示会などのツールを用いた販路開拓、さらにはオンライン型のサービスの拡充など、デジタル技術を用いた新しいビジネスの形が広がりつつあり、この流れは今後も続くと思われる。このようななか、当機構では、令和4年4月にデジタル設備を配備したデジタルハブを開設する。県内企業のデジタル化を促すとともに、国内外に向けたビジネス展開の促進、販路拡大や輸出促進を図る必要がある。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

コロナ禍を契機にオンラインを活用したビジネスの広がりや越境EC市場の成長など中小企業の海外展開を取り巻く環境は大きな変動期を迎えている。このような中、海外展開の手を止めることなく推し進めることで、県内企業の国際競争力の維持・強化を促し、地域経済を牽引していく役割は大きい。

アフターコロナを見据え、県内の優れた製品を海外に展開し、地域の魅力を海外へ発信し続けることが、県内ものづくり産業の活性化、地域経済の活力強化を実現していくため極めて効果的といえる。

県内企業の海外展開への支援の実施に向け、引き続き富山県と事業の充実に向け、一体となって取り組んでいく。さらに、関係機関との海外支援ネットワークの強化を図ることで、県内企業に有用な情報を共有し、より県内企業の海外ニーズにより合致した総合支援の推進を図っていくこととする。